

第25回日本保健医療行動科学会学術大会 プログラム

第1日目

2010年6月12日（土）

時間	プログラム	会場
開会の辞		
10:00～17:00	一般演題（ポスター展示）	多目的ホール前
10:00～10:40	基調講演 ヘルスケア理論と生活密着型支援技術の開発、そして未来へ 岡 美智代（群馬大学医学部保健学科 教授）	多目的ホール
11:00～12:00	特別講演（1）・市民講座 不自由からの贈り物 星野富弘（詩画作家）	多目的ホール
13:10～13:50	総 会	多目的ホール
14:00～16:30	体験学習ワークショップ（1） 感じて脳トレ アートセラピー 高野理子（ゆうハイム・くやはら代表取締役・臨床美術士）	53学習室
14:00～16:30	体験学習ワークショップ（2） ピアカウンセリングの理論と実際～自尊感情を高め、「仲間」の輪を広げよう～ 池田優子（高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 教授）	55学習室
14:00～16:30	体験学習ワークショップ（3） 暮らしを拓げる10の筋力トレーニング 浅川康吉（群馬大学医学部保健学科 准教授）	56学習室
14:00～16:30	体験学習ワークショップ（4） ティーチングとコーチングの使い分けによる健康支援 諏訪茂樹（東京女子医科大学看護学研究科 准教授）	57学習室
16:40～17:30	特別講演（2） 人の命と健康を守る政治とは 太田 宏（早稲田大学国際学術院 教授）	多目的ホール

第2日目

2010年6月13日（日）

時間	プログラム・会場	
9:00～11:00	一般演題（口頭発表）	55学習室, 56学習室, 57学習室
10:00～15:00	一般演題（ポスター展示）	多目的ホール前
11:00～12:00	一般演題（ポスター発表）	多目的ホール前
12:00～12:50	ランチョンセミナー （共催：協和発酵キリン株式会社） 保健医療行動としての手洗い講習 大藪英一（日本医科大学医学部）	多目的ホール
13:00～13:50	特別講演（3） 平成22年度の診療報酬改定と技術－看護技術を中心に－ 習田由美子（厚生労働省保険局医療課 課長補佐）	多目的ホール
14:00～15:30	シンポジウム 生き方変容の支援技術 コーディネーター 宗像恒次 （筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授） （1）「糖尿病：患者さんの生き方支援」 竹馬庸裕（ちくばクリニック） （2）「糖尿病の生き方支援－支援技術研究の立場から－」 橋本佐由理（筑波大学大学院） （3）「がん体験者の生き方支援－健康心理療法の立場から－」 小林啓一郎（ビビッドライフ）	多目的ホール
閉会の辞		